

神奈川の博物館紹介

神奈川歯科大学 人体標本と100年史 資料館

当館は大学文化の象徴とシンボルとして2013年に開館しました。世界的解剖学者である横地千仞^{よこちちひろ}現名誉教授が作成された人体標本を中心に100年の軌跡を感じる赴きある9室で構成しています。100年の刻の重さと人体の神秘を通じ深い感動を覚え明日への生きる意欲・活力を起こさせる場となる事を願います。

1. 人体標本室

本学にはカラーアトラスに掲載されている約220点にのぼる液浸人体標本が貯蔵されています。精巧に精密に創り上げられた唯一無二の人体標本は、訪れる方を驚愕させると同時に深い感動を与えてくれます。特筆すべきは、ほぼすべての標本が病変に侵されるものではなく正常な状態で保存されたものであり、巧みな技術とアーティストとしての感覚が交差した世界に誇る唯一無二の標本です。現在、本学生は元よりコメディカル学生ら医療従事者を中心に全国より、年間5,000名が見学に訪れています。

2. アナトミーアート

人体標本室と並び称される横地先生の世界館とアナトミーアート展示室。独自の感性で描かれている絵画はリアルとユーモアが融合した横地先生の象徴です。100歳となった今でも描き続けている絵画の数々や石膏で創られた作品の数々が展示されています。

その他、成人の骨格標本や複数の頭蓋骨標本・ほぼ完全な形で発掘された縄文人骨などを展示した骨標本室もございます。



3. 100年資料室と歯科診療室の100年史

開学から100年を迎えた本学の軌跡をパネルとiPadで閲覧でき、また、解体新書やレオナルド・ダ・ヴィンチ解剖手稿、芥川龍之介直筆の草稿等、貴重な資料が多数並ぶ資料室と、100年前から現在にいたる歯科診療室を再現した歯科診療室の100年史は、タイムスリップしたかのような錯覚を覚えます。

横地千仞名誉教授について



横地千仞先生（大正7年生）は世界的な解剖学者。ドイツの解剖学者 J. W. Rohen 教授と共同出版された

「Color Atlas of Anatomy」

は世界23カ国語に翻訳販売され現在迄の累計発行部数360万部を誇る世界一の解剖学の教科書であり、解剖を学ぶ全ての者にとってのバイブル的存在です。

開館及び入館料について

医療従事者の方と一般の方は異なります。詳しくはHPまたはお電話でご確認下さい。

[http:// www.kdu.ac.jp](http://www.kdu.ac.jp)

問合せ先 電話：046-822-9351（直通）

E-Mail: shiryoukan@kdu.ac.jp

所在地

〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町 82

